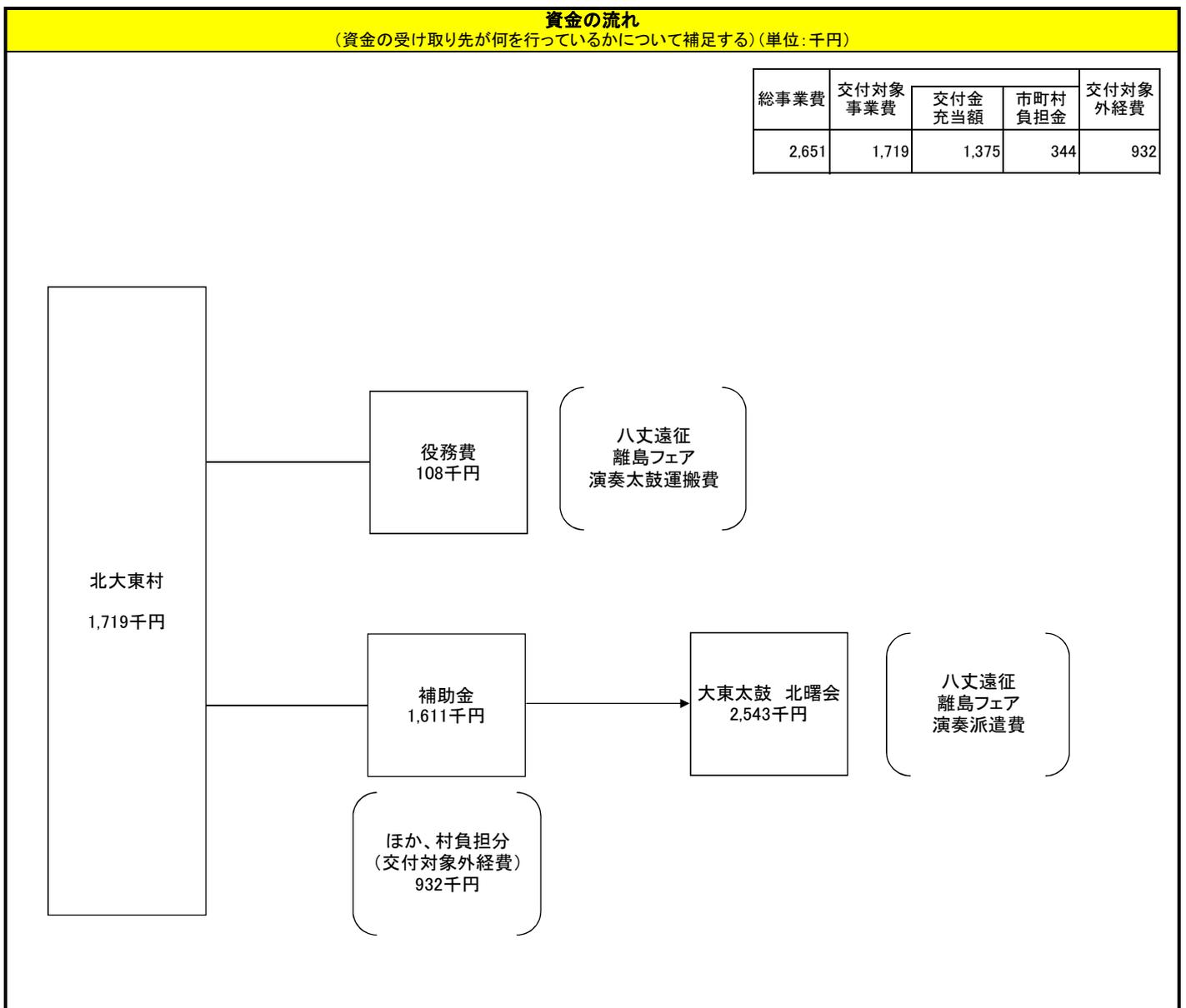


市町村名		北大東村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	地域の観光文化資源の担い手育成事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-エ	
担当部課名	総務課	事業実施 (予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	離島を支える多様な人材の 育成・確保	
事業内容	島の文化資源である『八丈太鼓』の魅力を発信し、県外等での交流発表を開催し、観光誘客を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算の 状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
		(a) 当初予算額	7,000	7,000	7,000	5,000	2,000
	(b) 予算現額	7,000	7,000	5,503	1,417	2,068	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 1,497	▲ 3,583	68	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	7,000	7,000	5,503	1,417	2,068	
	B. 執行済額	5,829	4,848	4,664	364	1,719	
	うち交付金充当額	4,663	3,878	3,731	291	1,375	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	83.3%	69.3%	84.8%	25.7%	83.1%	
予算の状況の説明	八丈遠征に伴い、68千円を増額した。不用額349千円は台風襲来のため、文化交流イベント(県内)未実施によるものである。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
	文化交流イベントの開催:6回 (県外:1回・県内:2回)	目標	( 5回 )	( 5回 )	( 5回 )	( 6回 )	
		実績	6回	5回	4回	6回	
		目標	( )	( )	( )	( )	
実績							
達成状況説明	文化交流イベントの開催を当初県外1回、県内2回、島内3回計画しており、県外イベントとして八丈島で八丈太鼓・子供たちとの交流演奏会を実施し(1回)、県内イベントとして離島フェアへ開催期間3日間の演奏出演(1回)、村内行事として地域職員歓・送迎会、大東宮祭、敬老会へ演奏出演し(計4回)、太鼓交流事業を実施した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値 (H26年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H30年度)	
	島の観光入客数:1,500以上	目標	( 1,000 )	( )	( )	( )	( 1,500 )
		実績		1,367	954		
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
実績							
進捗状況説明	平成29年度は年間台風発生数が27個と多かったことから(平年値25.6個)、前年に比べて観光入客数が減少したと思われる。 ※島の観光入客数は沖縄県地域・離島課の「離島関係資料」の公表時期の関係上、直近の数値は平成29年度(平成29年3月~平成30年2月)である。						

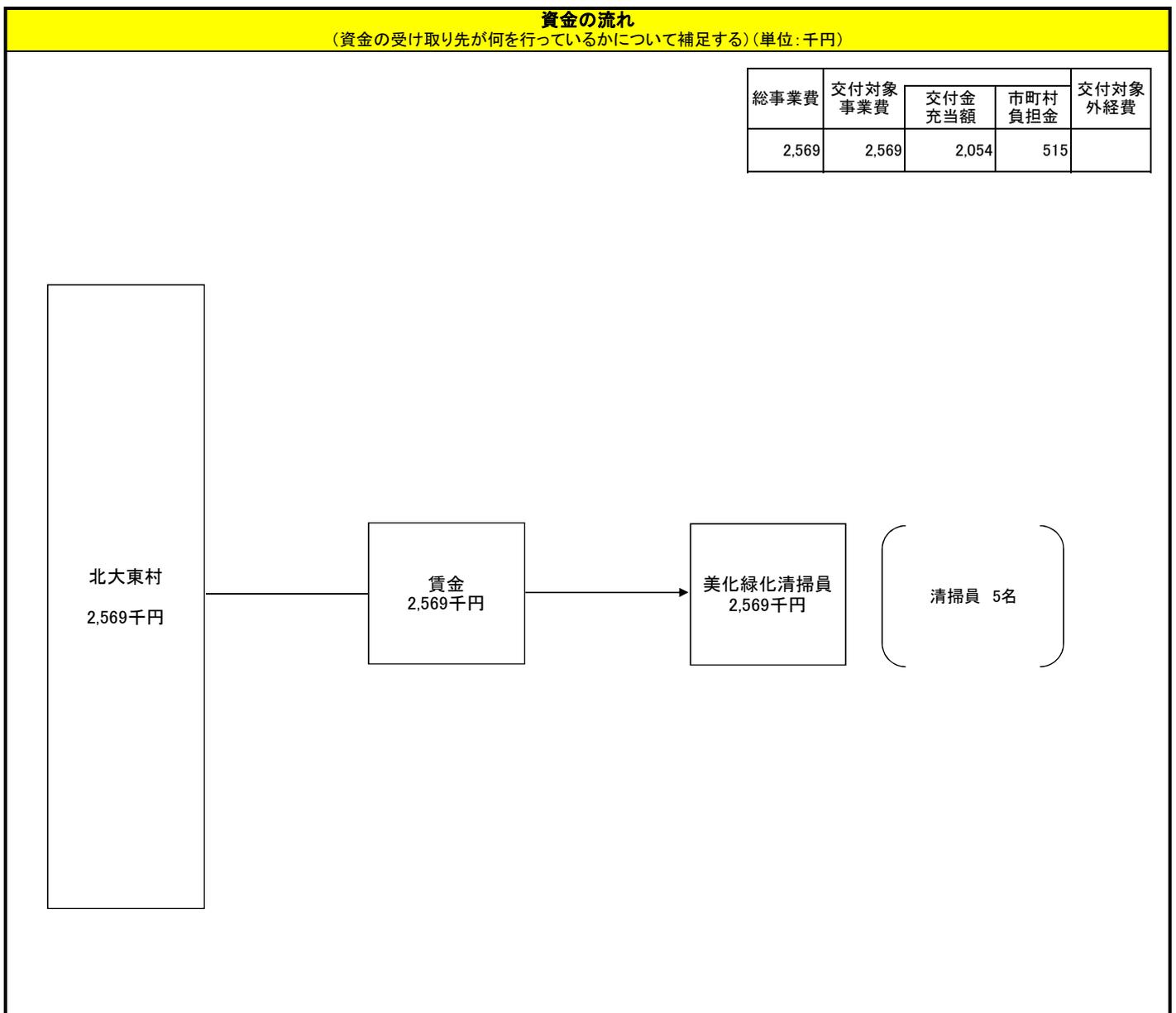
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	福井県のO・TA・I・KO響から令和元年度の出演に関しての打診があり、文化資源の継承者を育成していくため、また島の魅力発信のために出演に関しての調整を進めていく必要がある。	福井県での県外交流演奏会への参加検討のほか、県内イベントの出演依頼があれば積極的な参加を検討し、北大東島独自の文化資源である『八丈太鼓』をより多くの方に披露し、島への観光誘客に繋げる。
今後の取り組み方針		
<p>県外交流演奏会や県内イベントの出演依頼があれば積極的に参加することにより、北大東島独自の文化資源である『八丈太鼓』の魅力を県内外に発信することで更なる観光誘客に努めるとともに、より多くの方に八丈太鼓を披露できるよう今後も練習などの取り組みをとおして新たな演者の育成に取り組んでいく。</p>		



資金の流 れ、費 目 ・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○補助金支出先については、太鼓指導を実施しているのが1団体のみであることから、選定は妥当であると考えます。</p> <p>○予算規模については不用額は文化交流イベント未実施により生じた349千円であり、適正な規模であったと考えている。</p> <p>○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において、北大東村交付要綱に基づいて支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北大東村						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	観光アクセス道路美化緑化推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興	
事業内容	島の観光地周辺や重要なアクセス道路や周回道路等の修景及び美化の重点的な実施を行い、魅力的な観光地づくりを図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	4,000	5,000	5,000	3,500	3,000
		(b) 予算現額	4,000	4,089	2,497	2,500	3,000
		(c) 増減額(b-a)	0	▲ 911	▲ 2,503	▲ 1,000	0
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	4,000	4,089	2,497	2,500	3,000
	B. 執行済額		3,913	3,163	2,368	1,753	2,568
	うち交付金充当額		3,130	2,530	1,894	1,402	2,054
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		97.8%	77.4%	94.8%	70.1%	85.6%
予算の状況の説明		事業計画通り、アクセス道路や周回道路等の修景及び美化を実施した。不用額432千円は作業日数が予定を下回ったことによるものである。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	アクセス道路及び周辺道路の美化実施: 清掃員4名	目標	( 美化実施: 清掃員2名 )	( 美化実施: 清掃員2名 )	( 美化実施: 清掃員2名 )	( 美化実施: 清掃員4名 )	
		実績	美化実施: 清掃員4名	美化実施: 清掃員4名	美化実施: 清掃員4名	美化実施: 清掃員5名	
			目標	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	清掃員(常備:4名、非常備:1名)を雇用し、アクセス道路や周回道路(10箇所:村内主要道路・村内神社・上陸公園・沖縄県最東端の碑等)を重点的に修景及び美化を実施することで、観光客等の受入体制が整備できた。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	( )	( 80%以上 )	( )	( )	( )
		実績		97%			
			目標	( )	( )	( )	( )
			実績				
進捗状況説明	観光アクセスに重要な道路や周回道路の修景及び美化を重点的に実施する事により、観光客等の受入体制の整備・誘客促進・観光振興が図られたかをアンケートにより検証を行い、97%の方から魅力的な景観形成が図られたとの回答が得られた。						

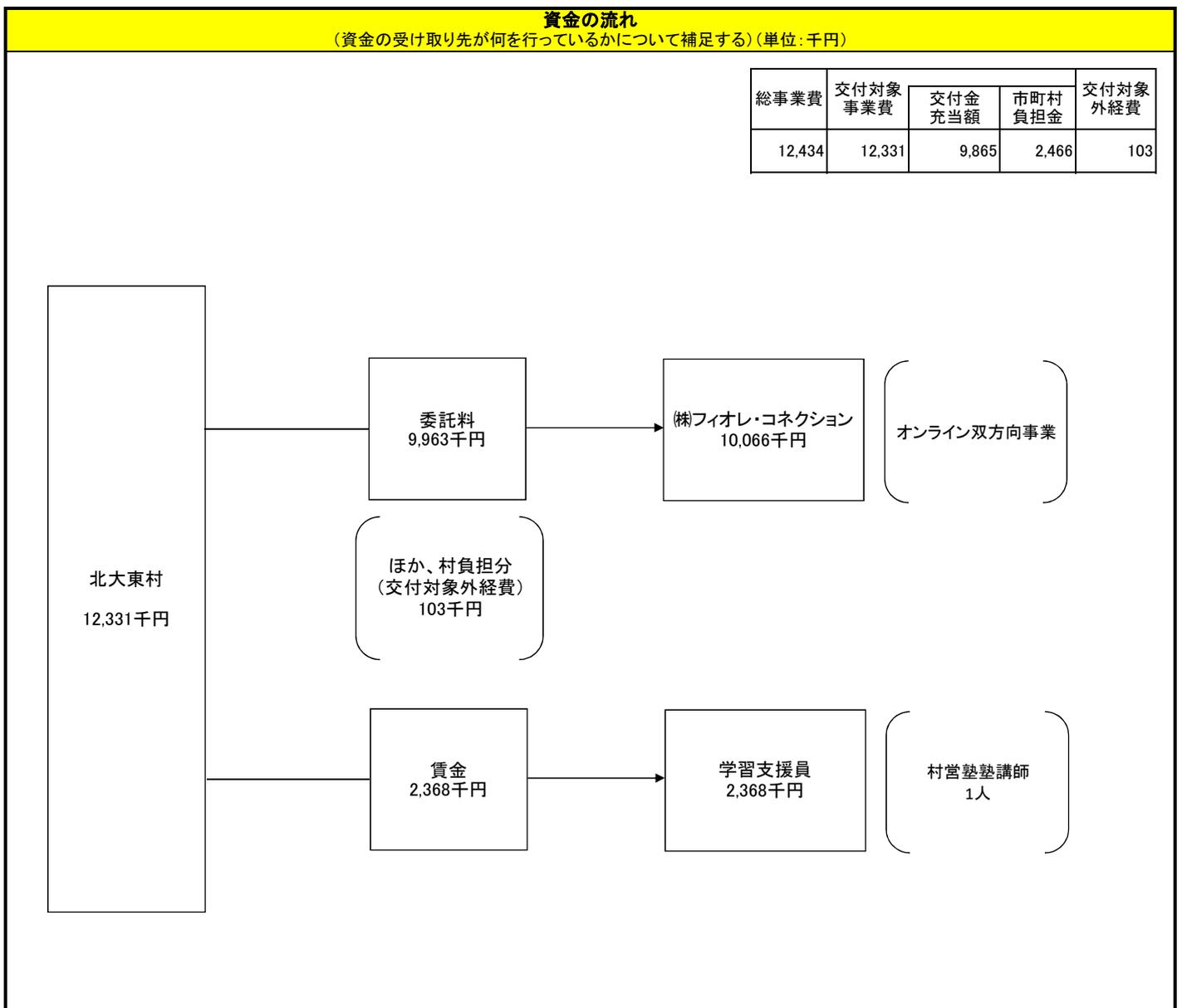
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>現在実施している区域以外の道路について、住民から修景及び美化の要望があったため限られた人員で効率的な実施ができるよう体制等の見直しを行い実施区域を拡充できるよう計画を立てていたが、作業員の確保が十分にできず、現在確保している作業員も高齢となっているため実施する箇所に優先順位を決める必要がある。</p>	<p>作業員の確保方法及び実施体制等を見直し、実施区域の拡充や修景及び美化が早急に必要である箇所の優先順位を検討する。</p>
今後の取り組み方針		
<p>引き続きチラシ配布等で作業員の確保に努めるとともに、応募がなかった場合は非常勤職員等の中から休日など自分の都合で作業できる体制を作るなど、限られた人員で効率的な実施ができるよう体制等の見直しを行い、実施区域を拡充できるよう取り組む。</p>		



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○賃金職員については、村内求人・賃金額と併せて適正に選定しており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、作業日数が想定を下回ったことにより不用額432千円があるものの、概ね適正な規模であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		北大東村									
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	2	オンライン双方向授業支援モデル事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ					
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-9					
事業内容	村営塾に学習支援員を配置、また、現役東大生によるオンライン双方向授業により、小中学校の児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。										
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)										
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )										
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度	
		(a) 当初予算額	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	14,500		
	(b) 予算現額	12,000	12,000	11,500	12,000	13,500					
	(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 500	0	▲ 1,000					
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-					
	A. 計(b+d)	12,000	12,000	11,500	12,000	13,500					
	B. 執行済額	10,338	11,094	11,000	10,108	12,331					
	うち交付金充当額	8,270	8,875	8,799	8,087	9,865					
	次年度繰越額	0	0	0	0	0					
	執行率(%) (B/A)	86.2%	92.5%	95.7%	84.2%	91.3%					
予算の状況の説明	事業計画通り、オンライン双方向授業により学習指導を実施した。委託料の入札残1,000千円を北大東村景観形成事業に流用した。										
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況								
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度					
	オンライン双方向授業講師:10人	目標	( 4人 )	( 10人 )	( 10人 )	( 10人 )					
		実績	4人	10人	15人	14人					
オンライン双方向授業受講生徒:35人	目標	( 35人 )	( 35人 )	( 35人 )	( 35人 )						
	実績	35人	35人	35人	32人						
達成状況説明	<p>オンライン双方向授業にて現役東大生講師の指導の下、児童・生徒の学力向上が図られた。東大生講師を必要数確保できたことにより、各講師・教科ごとの指導・評価・取組等の分野が広がり、学習方法や学習姿勢が身に付き教育環境格差の解消に繋がった。又、高校受験も全員合格という実績を得られた。</p> <p>講師の4人増の要因としては、当初予定していた講師の体調不良や留学等により代理で出たため増となった。</p>										
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)				
	平成30年度沖縄県学力到達度調査における県と北大東村との平均正答率の差 ①小学校 県平均以上 ・3年生:国語、算数 ・4年生:国語、算数 ・5年生:国語、算数、理科 ・6年生:算数	目標	( )	( 県平均以上 )	( 県平均以上 )	( )	( )				
		実績		平均以下 県 64.7% 村 52.7%	平均以下 県 61.2% 村 56.0%						
	平成30年度沖縄県学力到達度調査における県と北大東村との平均正答率の差 ①中学校 県平均以上 ・1年生:数学 ・2年生:国語、数学、理科、社会、英語	目標	( )	( 県平均以上 )	( 県平均以上 )	( )	( )				
		実績		平均以上 県 47.4% 村 55.7%	平均以上 県 50.2% 村 52.5%						
進捗状況説明	<p>オンライン双方向授業の実施により、現役東大生の指導を通して教育環境格差の解消が図られ、児童・生徒の学習に対する習慣や姿勢が身に付き、沖縄県学力到達度調査における県と北大東村との平均正答率の差は小学校の県平均には届かなかったが、前年度より県平均との学力差を縮めてきている。また、沖縄県学力到達度調査における中学校の県平均を上回っており、尚且つ高校受験において全員合格の実績を得られた。</p>										

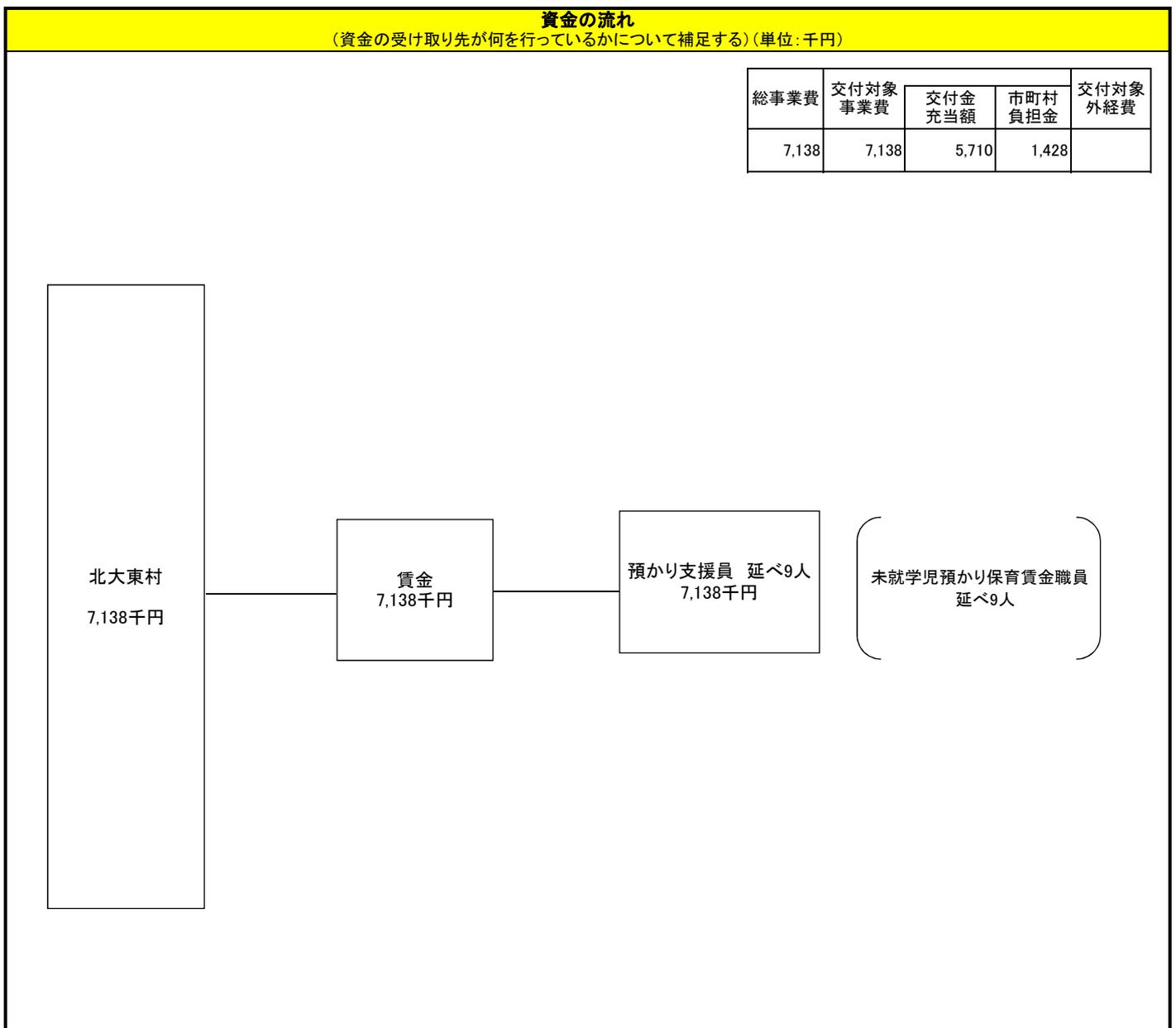
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	オンライン双方向授業による現役東大生の指導についてこれない子どもについては、村営塾の学習支援員による個別指導により引き続き対応を行っていく必要がある。	オンライン双方向授業による現役東大生の指導についてこれない子どもについては、村営塾の学習支援員による個別指導により個々の学習能力に応じた対応を継続して行っていく必要がある。
今後の取り組み方針		
オンライン双方向授業の講師や村営塾の学習支援員と連携を図りながら、個々の学習能力に配慮したきめ細やかな対応を行うことにより、引き続き全体のレベルの底上げが行えるよう取り組んでいく。		



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、オンライン授業を実施しているのは1社のみとなっており、随意契約にて契約は妥当であると考えます。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、不用額は授業休講日等により生じた1,169千円であるものの、適正な規模であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については、額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		北大東村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	離島の定住促進に向けた子育て基盤構築事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 III-9	
事業内容	子育て基盤の構築に向け、2歳児を含む未就学園児に対する幼稚園の預かり保育支援員を配置し、保護者が安心・安全に子供を預け、育児の負担軽減を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
		(a) 当初予算額	7,500	8,000	8,000	7,000	9,500
	(b) 予算現額	7,000	8,000	7,000	7,125	7,500	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 500	0	▲ 1,000	125	▲ 2,000	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	7,000	8,000	7,000	7,125	7,500	
	B. 執行済額	6,594	6,580	6,236	6,967	7,138	
	うち交付金充当額	5,275	5,264	4,988	5,574	5,710	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	94.2%	82.3%	89.1%	97.8%	95.2%	
予算の状況の説明	子供の増加に伴い預かり保育の支援員の増員を予定していたが、一年間継続した人材の確保をすることができず2,000千円を減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	幼稚園児の預かり保育の実施のための支援員の配置:4人	目標	( 2人 )	( 2人 )	( 2人 )	( 4人 )	
		実績	2人	2人	4人	延べ9人	
	目標	( )	( )	( )	( )		
	実績						
達成状況説明	平成30年度も継続して預かり保育の支援員を配置した事により、待機児童の解消と2歳児を含む未就学園児に対し、子育て支援が強化された。しかしながら、一年間継続した預かり保育の支援員の配置をすることができず、これまでと比べ任期途中での支援員の交代があった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
		対象となる幼児の保護者へのアンケートで、安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じた割合(80%以上)を含め事業のあり方を検証する。	目標	( )	( 80%以上 )	( )	( )
	実績				95%		
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
実績							
進捗状況説明	他に幼児を預かれる施設がないため、本事業で預かり保育事業実施により、安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減された。						

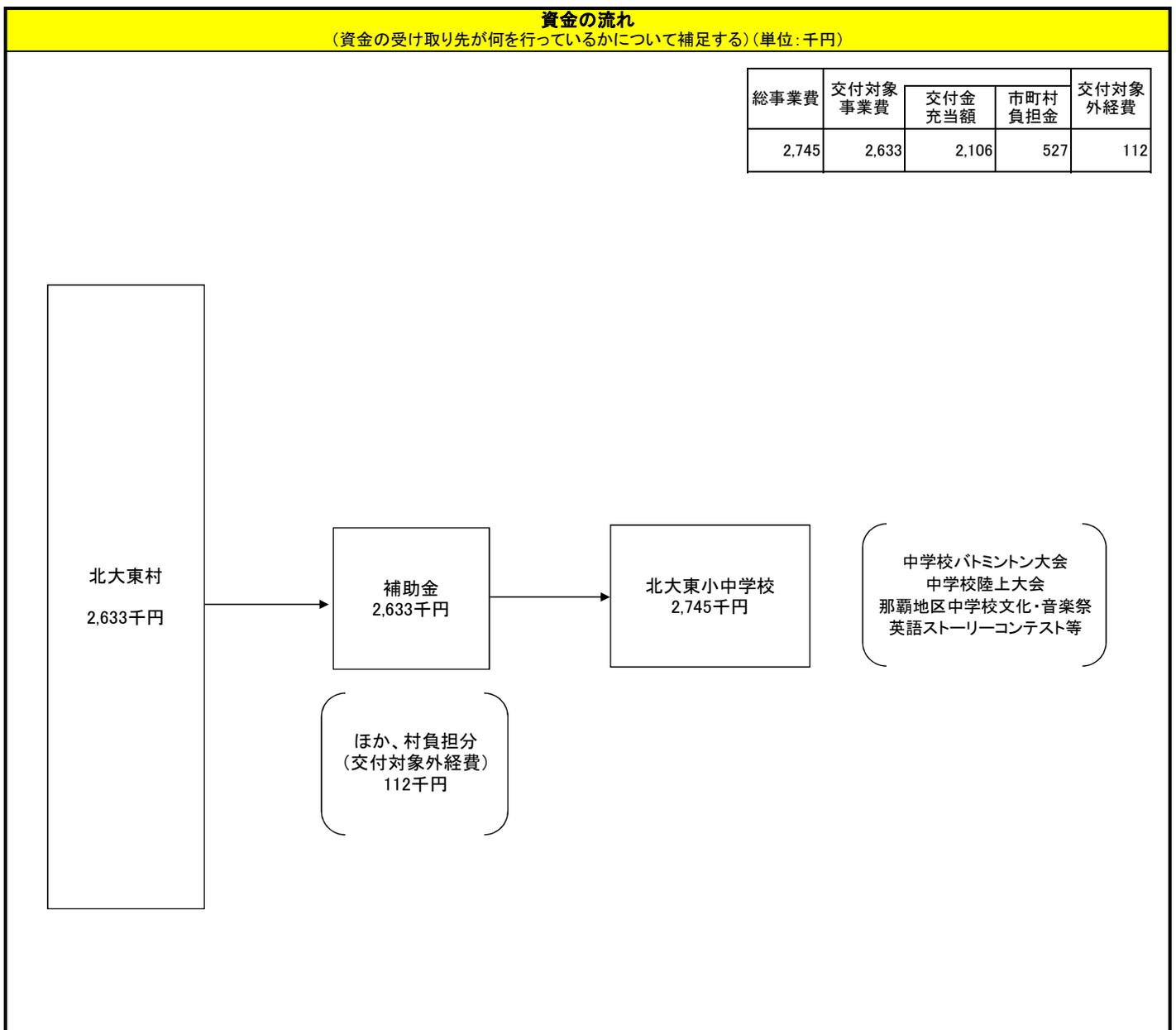
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	平成29年度に引き続き、保護者から預かり対象年齢の引き下げ要望があった。	2歳児以下の受入を行うためには、新たに乳児室又はほふく室、調乳室、沐浴室等を設置しないといけないが、施設規模的に設置が不可能であり、保護者からの要望に応えるためにも早急な施設の整備が望まれる。
今後の取り組み方針		
就学前の適切な教育・保育を実施するためには、幼保連携型認定子ども園を設置する必要があり、設置後に入園する子どもたちの環境変化を少しでも和らげるため保育教諭の人員確保や人材育成等の課題解決に取り組んでいく。		



資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○嘱託職員については、村内求人・嘱託職員金額に併せて適正に選定しており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については不用額は期間制限により生じた363千円であり、適正な規模であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北大東村						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	離島の児童の交流促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 III-9	
事業内容	離島の不利益を克服し、児童生徒の島外・県外交流の機会増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、スポーツや交流学习における渡航費の支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	<b>予算の状況</b>		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
		(a) 当初予算額	2,500	3,500	3,500	2,000	3,000
		(b) 予算現額	2,614	3,044	2,100	1,875	3,000
		(c) 増減額(b-a)	114	▲456	▲1,400	▲125	0
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	2,614	3,044	2,100	1,875	3,000
		B. 執行済額	2,403	2,699	1,769	1,775	2,633
		うち交付金充当額	1,922	2,159	1,415	1,420	2,106
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	91.9%	88.7%	84.2%	94.7%	87.8%
予算の状況の説明	大会不参加等による執行残があるものの、概ね事業計画どおりに執行を行うことができた。						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	<b>H30活動目標(指標)</b>	達成状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
		目標	( 助成の実施 )	( 助成の実施 )	( 助成の実施 )	( 助成の実施 )	
		実績	実施	実施	実施	実施	
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	学習・文化交流(中学校総合文化祭、中学音楽発表会、英語ストーリーコンテスト)やスポーツ大会派遣(陸上競技・バドミントン競技大会、駅伝大会)、高校体験入学・説明会による県内や県外への移動費助成を行った。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	<b>H30成果目標(指標)</b>		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
		目標	( )	( 80%以上 )	( )	( )	( )
		実績		89%			
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
		進捗状況説明	交流促進事業の実施により、他校(中学校総合文化祭、中学音楽発表会、英語ストーリーコンテスト)との文化交流が図られた事やスポーツ大会派遣(陸上競技・バドミントン競技大会)においては、地区大会上位実績・県大会派遣への意欲や技術・精神面での向上に繋がる成果が得られた。				

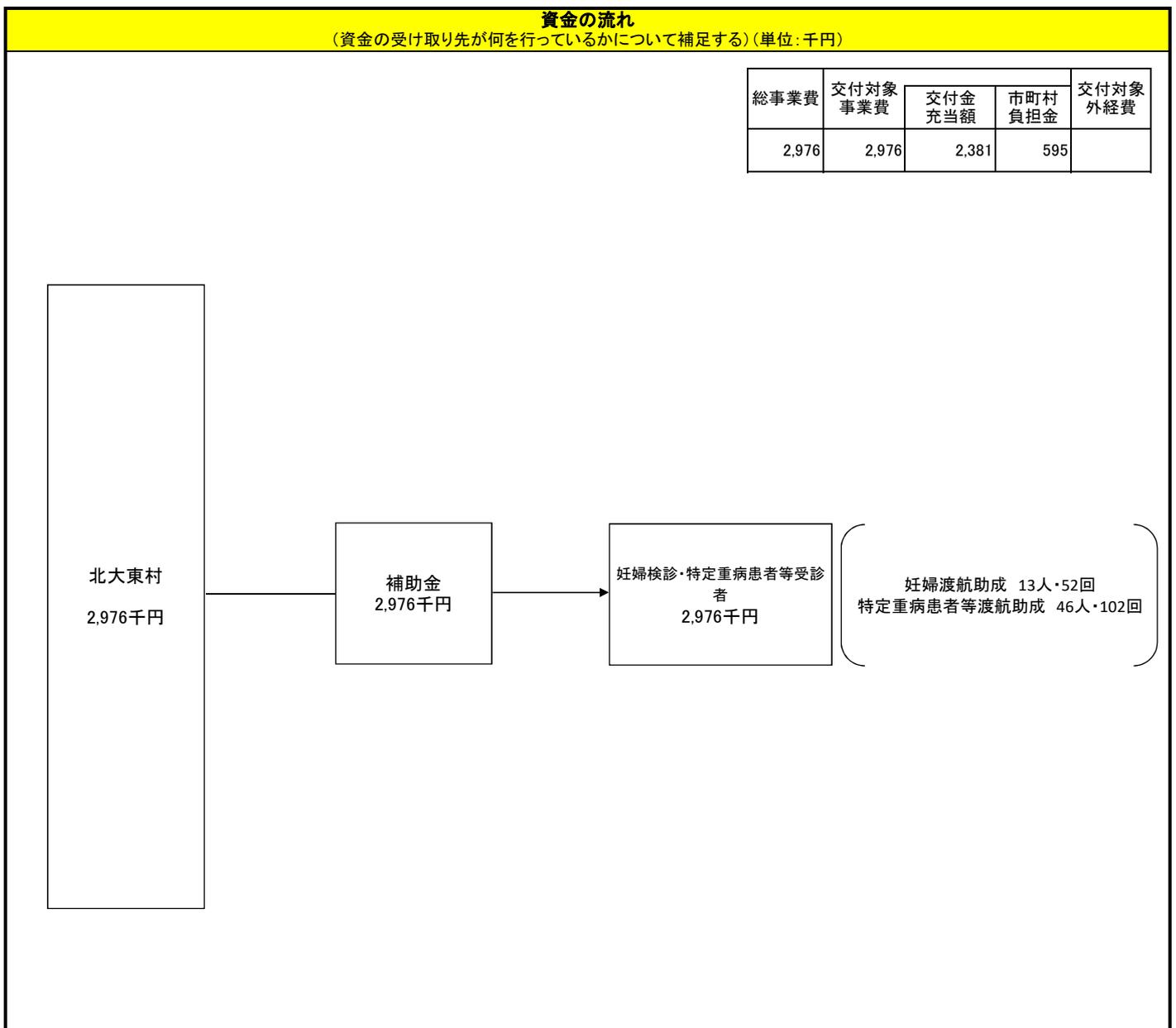
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3件(那覇地区中学校駅伝競走大会、那覇地区中学総合文化祭、沖縄県中学校総合文化祭)の大会に平成29年度より多くの派遣を行えたことで児童生徒により広い視野を持たせることができた。</li> <li>・現在、本事業で助成しているのは航空費のみで宿泊費や車賃等は自己負担となっているが、宿泊しないと本島の大会に参加できないので宿泊費と車賃まで助成を拡充してほしいと要望があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の大会等や練習試合等にも参加させてより広い視野を持たせたいと考えているが、学校の授業日数や島内イベント等が詰まっているため、利用に関する更なる検証が必要と考える。</li> <li>・他事業との兼ね合いや要綱の改正等を含めて検証する必要があると考える。</li> </ul>
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後更に学校や教育委員会、PTA等と話し合いを持ち大会・練習試合等にも助成を拡充していけるか検討していく。</li> <li>・検討内容に応じて、保護者の負担を減らすための要綱改正を行い、令和元年度から適用していく。</li> </ul>		



資金の 使途の 流れ 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金支出先については、生徒指導を実施しているのは1団体のみとなっており、選定は妥当であると考えます。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については不用額は不参加により生じた367千円であり、適正な規模であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		北大東村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③	離島特別医療質確保推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部課名	福祉衛生課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-9	
事業内容	離島の不利益を克服し、妊婦・特定重病患者等の健康を守るため、妊婦検診や島内で対応できない医療サービスを受ける際の渡航費の支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
		(a) 当初予算額	1,000	3,000	3,000	3,500	3,500
		(b) 予算現額	1,904	3,456	3,124	3,500	3,500
		(c) 増減額(b-a)	904	456	124	0	0
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		1,904	3,456	3,124	3,500	3,500
	B. 執行済額		1,831	3,136	2,547	2,615	2,976
	うち交付金充当額		1,465	2,508	2,037	2,092	2,381
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		96.2%	90.7%	81.5%	74.7%	85.0%
予算の状況の説明		事業計画どおり離島特別医療質確保推進事業を実施した。3月下旬精算受付分までを交付金交付の対象とし、当該期限に間に合わない精算受付分については、村の単費で対応している。平成30年度全体の支出額は3,110千円であり、執行率は88.9%である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	妊婦検診助成の実施	目標	( 助成の実施 )	( 助成の実施 )	( 助成の実施 )	( 助成の実施 )	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	特定重病患者の検診助成の実施	目標	( 助成の実施 )	( 助成の実施 )	( 助成の実施 )	( 助成の実施 )	
		実績	実施	実施	実施	実施	
達成状況説明	事業制度の周知を図り、島内で受診対応出来ない、妊婦検診(13人/52回)・特定重病患者等の検診(46人/102回)に係る医療サービスを受ける際の沖縄本島への渡航移動費助成を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
		渡航費支援が必要な人への支援率:100%	目標	(      )	( 100% )	(      )	(      )
	実績				100%		
		目標	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )
		実績					
	進捗状況説明	支援が必要な方へ制度説明を行い、申請のあった方全てに対して支援を行った。 ※支援率=(渡航支援した人)/(島外での診療が必要と診断された人)					

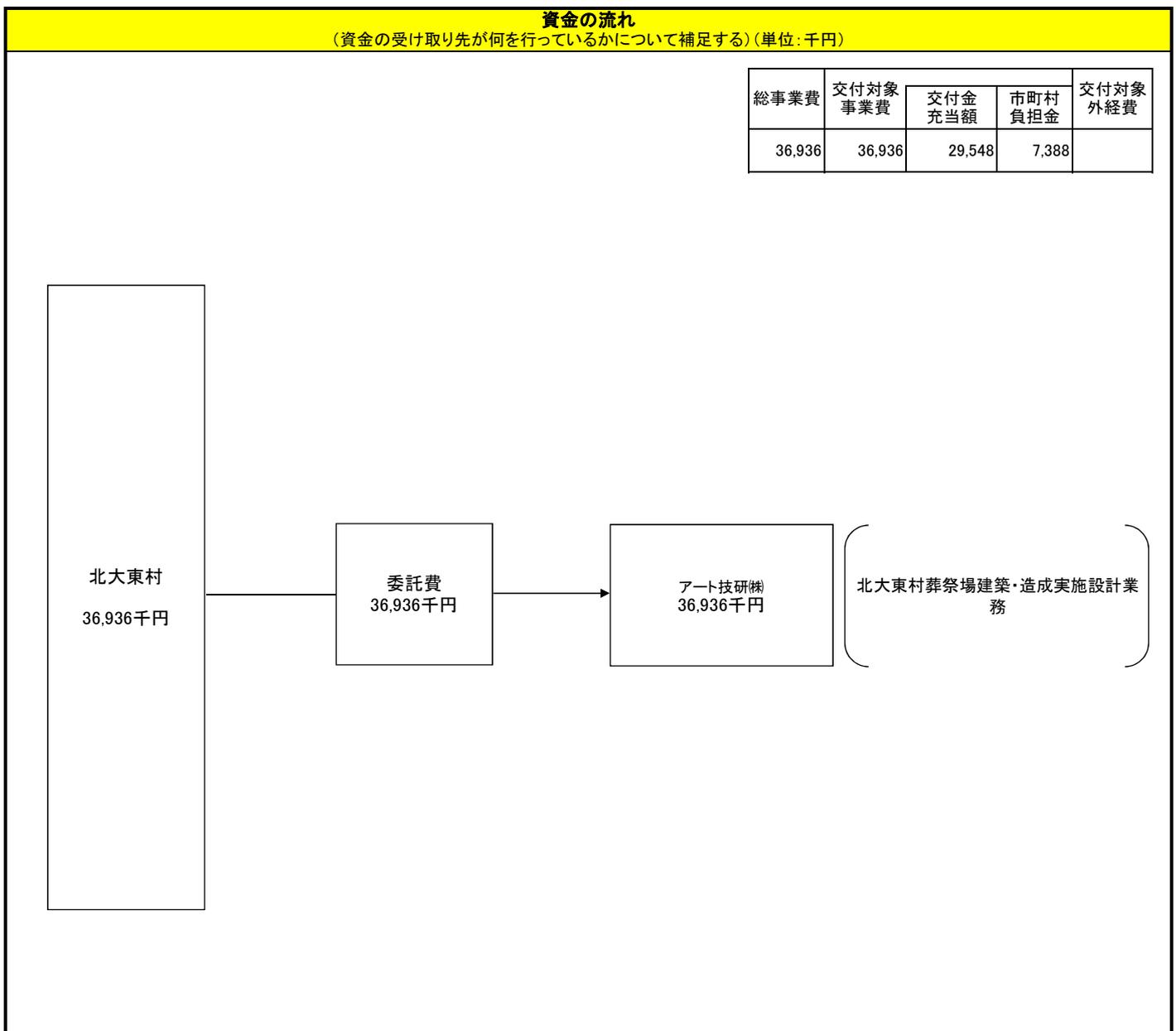
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	子供の問診など特殊機器を要しない診療やカウンセリング等について、親子で受診できるよう休日などに島内で実施できないかと要望があった。	島内診療所医師や保健師などといった有識者等の意見を参考にして、休日に子供の問診など特殊機器を要しない診療やカウンセリング等に係る医療従事者の招聘が可能か検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
島内診療所医師や保健師などといった有識者等の意見を踏まえて、令和元年度から休日に子供の問診など特殊機器を要しない診療やカウンセリング等に係る医療従事者の招聘を実施していく。		



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受診証明書・搭乗確認書等にて選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については不用額は期間制限により生じた524千円であり、適正な規模であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北大東村						
<b>平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	5	北大東村葬祭場建築事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ		
担当部課名	福祉衛生課	事業実施(予定)年度	平成30~令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-4		
事業内容	既存火葬場の老朽化と火葬ホール・霊安室・管理室等の施設機能が十分に果たせていないため、葬祭場一式の新築整備を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R2年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	40,000				
		(b)予算現額	36,936				
		(c)増減額(b-a)	▲3,064	0	0	0	0
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	36,936	0	0	0	0
	B.執行済額		36,936				
	うち交付金充当額		29,548				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		事業計画通り、北大東村葬祭場建築事業により実施設計を作成した。入札残3,064千円を減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	葬祭場の設置に向けた基本・実施設計の実施	目標	( 実施 )	( )	( )	( )	
		実績	実施				
			目標	( )	( )	( )	
			実績				
達成状況説明	当初計画通り基本・実施設計を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R2年度)
	実施設計完了	目標	( )	( 完了 )	( )	( )	( )
		実績		完了			
	【R2成果目標】住民の福祉が向上したか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。		目標				( 80%以上 )
	進捗状況説明	葬祭場の実施設計を完了したことから、令和元年度整備に着手する。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本村には葬祭場及び遺体安置所の施設がないため、実施設計の完了に伴い、令和元年度以降に早急に整備に着手する必要がある。	入札に関する事務手続きや入札後における工事の進捗状況を適正に管理しながら、早期の施設整備完了に取り組む必要がある。
今後の取り組み方針		
住民の告別式準備の負担軽減や遺体の衛生的な保管等の観点から、速やかに入札に着手する。		



資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争入札により適正に選定しており、妥当であった。 ○予算規模については適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		北大東村									
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	6	離島食品・日用品輸送等支援実証事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア					
	担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成28~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減 III-9					
事業内容	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から北大東島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。										
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)										
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )										
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度		H29年度		H30年度		R1年度		R2年度	
		(a) 当初予算額	8,250	8,400	8,400	8,400					
		(b) 予算現額	8,250	8,900	8,400						
		(c) 増減額(b-a)	0	500	0	0					
		(d) 繰越額	-	-	-						
	A. 計(b+d)		8,250	8,900	8,400	0	0				
	B. 執行済額		7,334	6,785	6,393						
	うち交付金充当額		5,866	5,428	5,114						
	次年度繰越額		0	0	0						
	執行率(%) (B/A)		88.9%	76.2%	76.1%	#DIV/0!	#DIV/0!				
予算の状況の説明		2月運航分までを交付金交付の対象とし、3月分については、村の単費で対応している。3月分までの支出額は7,127千円であり、3月運行分を含めた執行率は84.8%である。 残りの1,273千円に関しては天候不良による延期が累計19日あったため不用となった。 ※輸送経費及び作業経費は、村と県で1/2ずつ負担している。									
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況								
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度					
	食品、衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援	目標	( 支援の実施 )	( 支援の実施 )	( 支援の実施 )	(                    )					
		実績	実施	実施	実施						
			目標	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )				
		実績									
達成状況説明	沖縄県離島地域は遠隔性、散在性、狭小性等の不利益条件から輸送コスト・高額物価や慢性的な人口流出・減少等により、地域活力の低下が懸念されている。 沖縄本島から北大東島へ輸送されることに伴う割高な生活コストを低減し定住環境の改善を図るため、食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施した。										
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)				
	生活必需品等の価格について、沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前と比較した縮小幅 18.5ポイント以上 (参考)H24指標:142.5	目標	(                    )	( 18.5ポイント以上 )	(                    )	(                    )	(                    )				
		実績		16.6ポイント							
			目標	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )				
			実績								
進捗状況説明	離島食品・日用品等の輸送経費及び作業経費の支援により、小売店の仕入価格の負担軽減に繋がり、沖縄本島と離島の価格差が縮小され、離島住民の生活コストが低減された。(H30.9指標:125.9) 成果目標が達成できなかった要因としては、当初から事業を継続している5離島(座間味島・阿嘉島・渡嘉敷島・北大東島・南大東島)のH29.12の平均指標が120.4に対してH30.9の平均指標が124.3と上昇していることから物価の高騰等による小売価格指標の上昇が考えられる。										

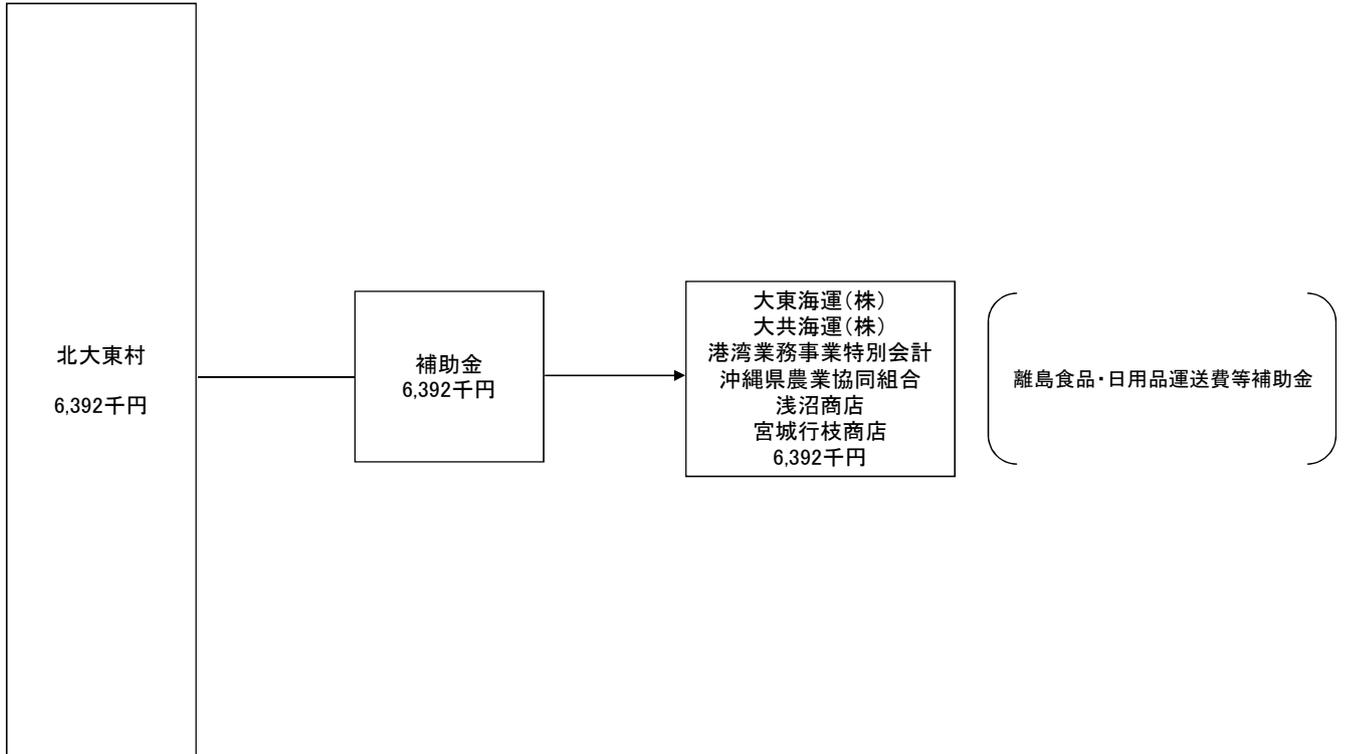
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	事業の認知度は一定程度あるものの、価格が低減される品物1品ごとの低減額が小さいことから、住民の間ではあまり事業効果を実感できていない状況にある。	事業の検証を含め、住民がより生活コストの低減を実感できるような取り組みを検討する必要がある。

**今後の取り組み方針**

事業開始前と比べ生活コストは軽減されているものの、依然として沖縄本島と比べ割高であることや住民が生活コストの低減を実感できていないことから、住民がより事業効果を実感できるような事業の実現可能性を検討していく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

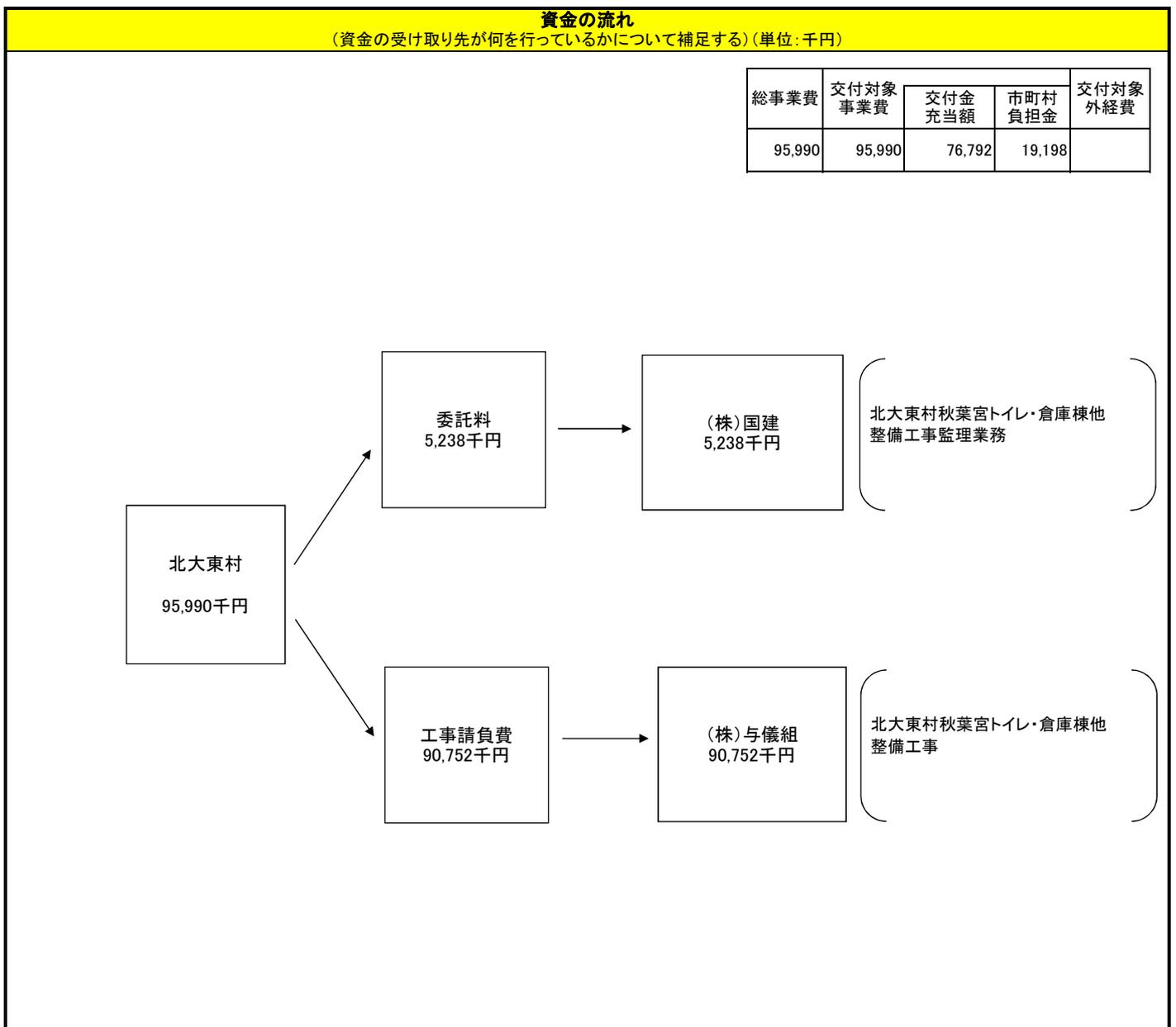
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
6,392	6,392	5,114	1,278	



資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支援費負担業者については、南北大東船舶運航会社を選定しており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、天候不良による延期が累計19日あったため適正だったと考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		北大東村				
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	7	北大東村コミュニティ施設周辺整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-エ
担当部課名	経済課	事業実施(予定)年度	平成27~30年度		沖縄振興基本方針該当箇所	過疎・辺地地域の振興
事業内容	北大東村内で毎年行われる祭り行事では県内外から多くの関係者や観光客が訪れており、歴史・文化の継承及び観光誘客を図るため、コミュニティ施設周辺整備を行う。					
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R1年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度(繰越)	H28年度	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度
		(a) 当初予算額	—	30,000	85,000	—
	(b) 予算現額	—	45,300	116,000	—	96,000
	(c) 増減額(b-a)	—	15,300	31,000	—	0
	(d) 繰越額	55,011	—	—	35,302	—
	A. 計(b+d)	55,011	45,300	116,000	35,302	96,000
	B. 執行済額	54,705	45,079	80,698	32,508	95,990
	うち交付金充当額	43,763	36,063	64,558	26,006	76,792
	次年度繰越額	0	0	35,302	0	0
	執行率(%) (B/A)	99.4%	99.5%	69.6%	92.1%	100.0%
予算の状況の説明	事業計画通り北大東村コミュニティ施設周辺整備に関する工事を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況				
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	・秋葉宮備品格納倉庫工事の実施 ・秋葉宮観覧席工事の実施 ・秋葉宮公共トイレ工事の実施	目標	( 工事の実施 )	( )	( )	( )
		実績	工事の実施			
	目標	( )	( )	( )	( )	
	実績					
達成状況説明	計画通り北大東村コミュニティ施設周辺整備事業に関する工事を実施した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R1年度)
		目標	( )	( 整備の完了 )	( )	( )
	実績		整備の完了			
	【R1成果目標】施設を利用した祭りの来場者数 368人以上	目標				
進捗状況説明	下記に記載の通り事業を実施し、村内の開拓者たちが持ち込んだ文化などを観光施設として整備したことによって、村に訪れる観光客などが安全・快適に観光してもらう受入体制を強化することができた。 ・秋葉宮の格納倉庫、観覧席、公共トイレの整備を行い観光客や村民の利用頻度も高まっている。					

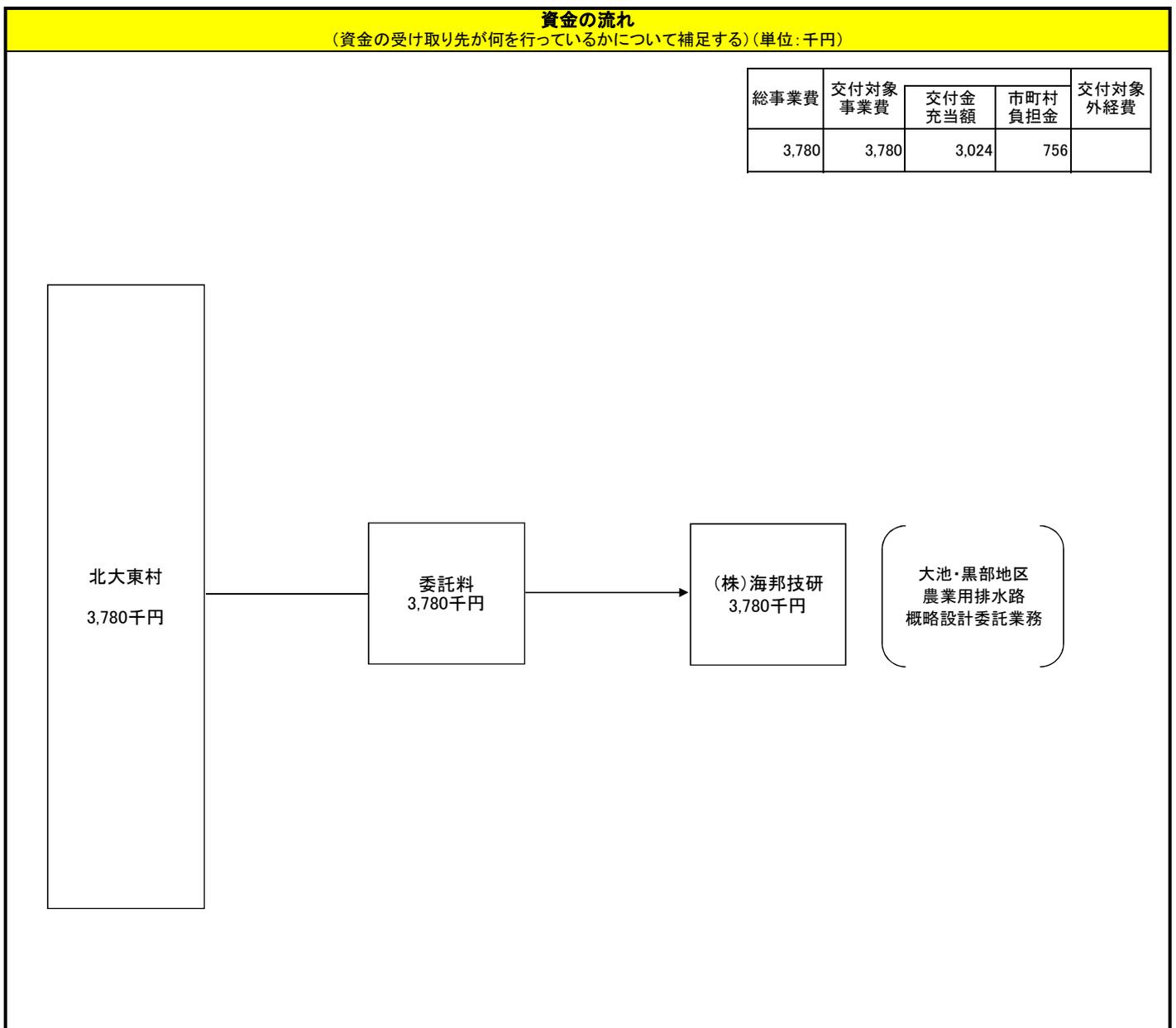
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	秋葉宮を使用する祭りである秋葉宮祭は、島における一年の最後のお祭りで奉納相撲や中学卒業後に島を離れる子どもと親で行われる親子相撲などといった催しがあり、離島で唯一の親子相撲を見られる誘客事業に力を入れる必要がある。	秋葉宮は離島で唯一の親子相撲や沖縄県で一番早くに太陽が昇る宮としても有名なため、有識者などの意見を踏まえて観光メニューを作成できるか検討する。
今後の取り組み方針		
秋葉宮については、有識者などの意見を踏まえて観光メニューを作成し、観光誘客に取り組む。		



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者・工事請負業者は指名競争入札により適正に選定しており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については不用額は入札残により生じた10千円であり、適正な規模であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北大東村						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	9	農業用水路防災・減災事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-カ	
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備		
事業内容	台風等の豪雨による圃場等の洗堀及び干ばつによるさとうきび等への被害を防ぎ、安定した生産を図るため、農業用排水路の整備に向けた概略設計を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R6年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	0				
		(b) 予算現額	4,000				
		(c) 増減額(b-a)	4,000	0	0	0	0
		(d) 繰越額	-				
		A. 計(b+d)	4,000	0	0	0	0
	B. 執行済額		3,780				
	うち交付金充当額		3,024				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		94.5%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		事業計画通り農業用水路の防災・減災に関する概略設計を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	概略設計業務の実施	目標	( 実施 )	( )	( )	( )	
		実績	実施				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	計画通り農業用水路の防災・減災に関する概略設計を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R6年度)
	概略設計業務の完了	目標	( )	( 完了 )	( )	( )	( )
		実績		完了			
	【R6成果目標】 さとうきび生産量 15,734トン以上		目標				( 15,734トン以上 )
	進捗状況説明	計画通り農業用水路の防災・減災に関する概略設計を完了した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	概略設計を作成していく中で農道の勾配と圃場のすりつけについて課題が生じた。	課題については、暗渠排水路を設置するなど、営農に支障がないよう整備する。
今後の取り組み方針		
令和元年度以降、他事業(農林水産部所管農地農村整備事業)にて事業申請を行い、暗渠排水路を設置を含む工事まで着手していく。		
今後のスケジュール R1:事業申請、R2:実施設計、R3:整備工事		



資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争入札により適正に選定しており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については不用額は入札残により生じた220千円であり、適正な規模であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	